

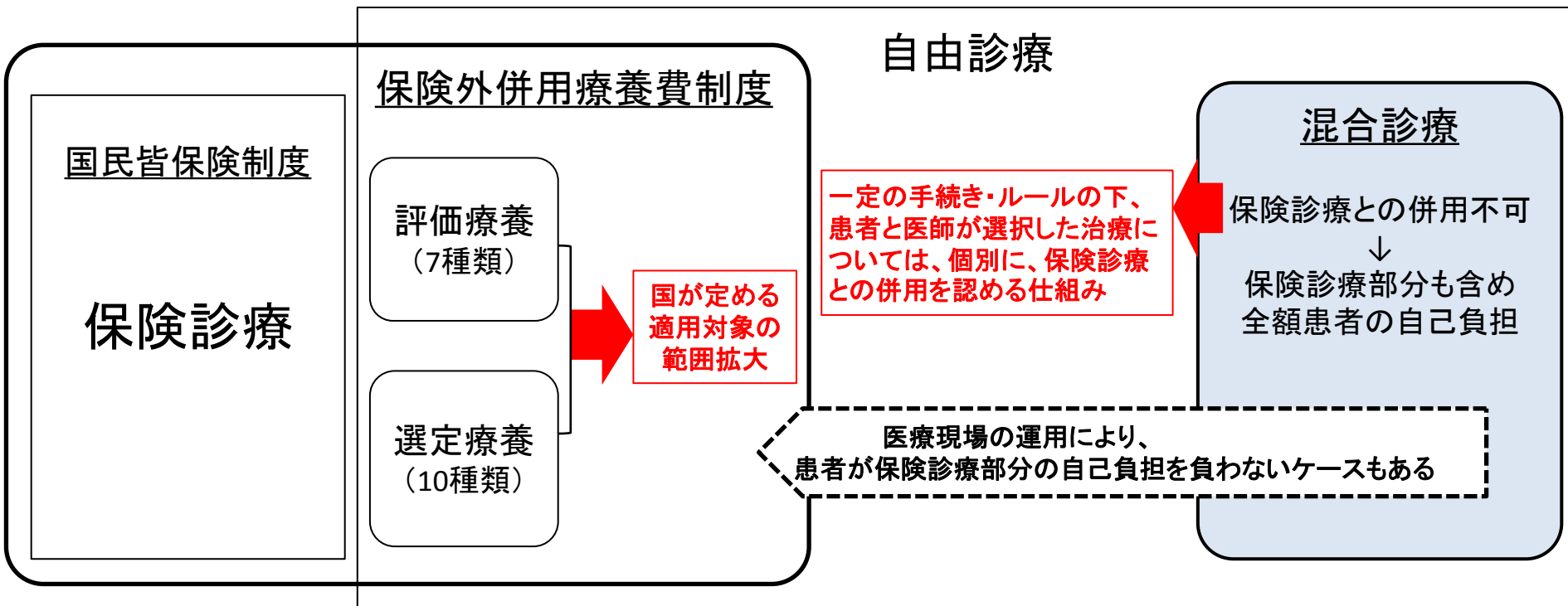
「保険診療と保険外診療の併用療養制度」改革に向けた新たな仕組みの検討

改革の方向性 (H25/12/20規制改革会議)

- ◆ 患者の自己選択権の拡大
- ◆ 医師の裁量権の尊重

＜必要とされる新たな仕組み＞

- 患者・医師間の“情報の非対称性”を埋める仕組み
(治療内容についての安全性等に関する十分な情報を患者に提供)
- 治療内容を客観的にチェックする仕組み
(根拠の疑わしい医療の助長、患者負担の不当な拡大を防止)



＜規制改革会議：健康・医療分野の3つの視点＞

- ① 有効な医療技術をいち早く国民に届ける
- ② 我が国の医療分野での国際競争力を高める
- ③ 国民皆保険の維持と保険財政の適正化を図る